

にいかっふ
HOKKAIDO NIIKAPPU TOWN

2023.11.10／発行

No.234

議会だより

第3回定例会



～ 朝日小学校学芸会 ～

10月21日朝日小学校最後の学芸会が行われました。

劇や音楽、41名の全校児童による校歌の合唱がありファイナーには、会場の参加者全員で「勇気を出して歩こう」を歌いました。

笑顔あふれる忘れられない思い出の1ページがまた増えました。

主な内容

第3回定例会の概要……………	P 2
一般質問／8議員が13件を問う……………	P 3
第3回定例会 専決処分等の審議……………	P 13
第3回定例会 補正予算の審議……………	P 14
議会動画配信開始……………	P 15

令和5年第3回定例会

令和5年第3回定例会は、9月12日に招集され、休会をはさみ15日まで開かれました。

初日12日は、町長と教育長の行政報告、人事案件1件の同意、報告案件3件の受理、専決処分4件を原案承認し、令和4年度一般会計他6会計決算を決算審査特別委員会に付託後、特別委員会の設置等を可決しました。

最終日15日は、8名の議員による13件の一般質問の後、令和5年度補正予算を審議し、採決を行い、可決しました。

また、3件の意見書のうち2件を採択し、各関係機関へ提出することとしました。

● 第3回定例会の付議事件 ●

《可決された議案》

- 同意第14号 新冠町教育委員会委員の任命
- 報告第8号 例月出納検査等の結果報告
- 報告第9号 新冠町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告
- 報告第10号 令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率
- 承認第9号 専決処分（令和5年度新冠町一般会計補正予算）
- 承認第10号 専決処分（令和5年度新冠町簡易水道事業特別会計補正予算）
- 承認第11号 専決処分（令和5年度新冠町下水道事業特別会計補正予算）
- 承認第12号 専決処分（令和5年度新冠町一般会計補正予算）
- 認定第1号～7号 令和4年度新冠町一般会計他6会計歳入歳出決算認定
- 会議案第11号 特別委員会の設置（令和4年度新冠町一般会計等決算審査特別委員会）
- 議案第44号 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

議案第45号

財産の取得（庁舎内ネットワークサーバー機器購入）

議案第46号

令和5年度新冠町一般会計補正予算

発委第2号

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

発委第3号

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

会議案第12号～15号

閉会中の継続調（審）査について（総務産業・社会文教・議会広報常任委員会・議会運営委員会・令和4年度新冠町一般会計等決算審査特別委員会・新冠町立国民健康保険診療所改築調査特別委員会）

議案第47号

令和4年災第228号準用河川比宇川C箇所地先河川災害復旧工事請負契約の変更

議案第48号

令和4年災第236号準用河川比宇川K箇所地先河川災害復旧工事請負契約の変更

《不決された議案》

発議第3号

現行の健康保険証の存続を求める意見書

一 般 質 問

町政のここが聞きたい

【一般質問とは、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することです。】

第3回定例会での一般質問は、質問と答弁内容を要約してお知らせしています。

詳しく知りたい方は、町ホームページ、議会事務局及びレ・コード館図書プラザで閲覧することができます。



ながはま
けんたろう
議員

防災・避難訓練

問 災害時の行動を
楽しく学ぶイベントを

答 今後の実施に向けて
検討を進める

長浜議員

当町は毎年10月、市街地を中心に避難訓練

を実施しているが、参加率に減少傾向が見受けられる。災害への初動は「避難」が大前提だが、避難所での行動に触れておくことも必要と思う。防災に限ったことではないが、平常時に試しておくことは非常時の安心に繋がり、トラブルやストレスも少なくなる。

ここ数年は、コロナの影響で思うような避難訓練はできなかったと察するが、実践を踏まえた課題解決学習として、防災イベントを主催してどうか。町が実施主体となることで、町民からの信用と信頼は高くなり、職員のノウハウも蓄積される。災害時に役立つ知識とスキルを楽しく学ぶ場面として、そして、防災の担い手を養成する側面も持ち合わせ、参加したくなる要素を加味した『防災デイキャンプ』『防災学校』の実施を提案する。

また、かつてモデルケースとなる自治会を決めた上で、避難訓練を実施する予定だと言及していたが、その後の経過は。

鳴海町長

毎年実施の避難訓練の参加率は近年20%

に達しない状況である。現在、津波浸水区域の住民を対象にアンケートを実施中で、その結果を分析し対応策を考える。

防災に関する事業として、事業所への出前防災研修などを実施しているが、本年10月には、新冠小学校を会場に北海道の防災総合訓練を実施する。さらに朝日小学校の跡利用に、備蓄品の保管、災害発生時の対策本部の設置、支援物資の窓口などの防災拠点機能としての活用を検討している。

防災デイキャンプや防災学校などは、幅広い年齢層に対して防災意識を高め、災害時の適切な行動を学ぶ貴重な機会となるため、今後の実施に向けてさらに検討を進める。

また本年5月に、新冠町津波防災力向上モデル事業実施要綱を創設し、モデル地区として中央自治会を選定の上、同意を得て決定した。中央自治会の皆さんには、事業の趣旨を理解いただき、成果を全町に広げるモデル事業となることを期待している。

第3回定例会一般質問

長浜議員

統合準備委員会や朝日小保護者説明会の

中で、避難訓練の実施状況については、多くの保護者から心配と懸念があった。その声を受け教育委員会は、第一避難場所を「校内での垂直避難」に変更する見直しをした。この迅速な対応が保護者の安心に繋がり、円滑な統合協議が進む要因になった。

防災デイキャンプを社会教育事業として実施することも可能と考えるが。

奥村教育長

社会教育事業については、事務事業

の見直しを進める中で、例えば、従来の自然体験学習と併せて、他部局と連携し防災教育の要素を取り入れて実施するなど、新たな要素を加えて内容を充実させることは可能と考えるので、次年度以降の実施に向け検討したい。

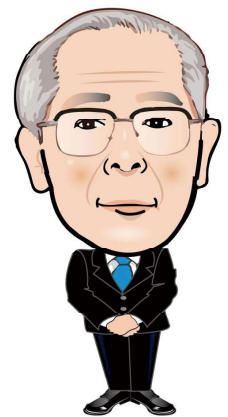


北海道の防災総合訓練の様子
(段ボールベットを作成中)

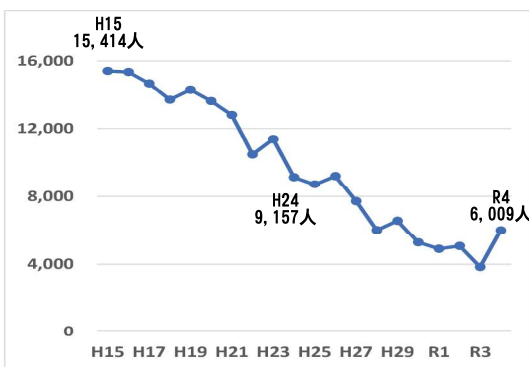
パークゴルフ場

問 施設の整備を講じては

答 維持管理を含め
改善に努めていく



武藤 勝固 議員



ヒルズパークゴルフ場利用者数の推移

武藤議員 現在のヒルズパークゴルフ場は、利用者から不満の声が聞こえる。グリーンの芝の手入れの弱さから、ツルツル状態でボールが止まらず、カップインするのに苦労したり、ラフの手入れが悪いので、今年はボールを見失うことが増えている。

休む所、ベンチもあるが、高齢者も多いので、他の所にも増やす必要があると考える。

利用者は減少傾向にあるが、ロケーションも素晴らしいので、町外の方々にも人気があるのに、大変残念な感じがする。パークゴルフ協会とも連携して振興策を講ずるべきでは。



ボールが止まりづらいグリーンの様子

鳴海町長 グリーンを中心とした芝の状況、およびラフの草丈については町としても認識し、管理事業者と改善に向け協議している。土壌環境と植生のことなので、早期に結果は出ないが、鋭意努力する。

ベンチの増設は考えず、施設の維持に努めていく。

社会環境も大きく変化し、高齢者の娯楽についてもウォーキングに移行するなど、一時期のパークゴルフブームとは隔世の感がある。時代の変化とともに利用者の中心世代の趣向も変化し、パークゴルフへの関心も低下しているのも事実かと思う。

今後、将来的なあり方の検討と協議を進めて行くことで、当町のパークゴルフ場の有効利用が促進される努力をしていく。

第3回定例会一般質問

鳥獣被害

問 ヒグマ・エゾシカからどう町民の命を守り農業被害を減らすか

答 目撃情報の迅速な周知に努める

武藤議員

今、ヒグマ・エゾシカから町民の命を守り、また農業被害を減らす取り組みが大事になってきている。
①町のホームページにヒグマ・エゾシカなどへの対策は周知されているが、最近の知見も参考にして充実させる必要があると思う。

②熊出没、エゾシカ注意の立看板は数多く必要だと思う。また道路に「エゾシカ注意」とペイントすることも必要ではないか。
③道内の研究者でつくる「ヒグマの会」が7月、ヒグマ対策を行う公的な実働組織を道内各地に設けることを提言したが、管内の自治体と連携して取り組みを進めるべきではないか。
④電気柵の費用負担は。

鳴海町長

①出没情報についてはホームページ、フェイスブック、防災メールを活用し

迅速な周知に心がけている。ヒグマの習性や遭遇時の対応に係わるチラシなども配布しており、猟友会の意見も踏まえながら適切な周知に努めていく。

②ヒグマの看板は設置場所などの改善を図る。エゾシカについては、国や道と連携し事故や目撃情報を基に、看板や道路ペイントなどの対応を講じている。引き続き有効な場所への設置を検討する。

③当町は日高町および平取町との3町に加え、各町の農協などの関係機関と、広域的な鳥獣被害防止対策に取り組んでいる。

④農協が窓口となり、すべて国費で賄われ、農業者の自己負担はない。

教育環境

問 全ての教室・体育館にエアコン設置を

答 学校運営上の工夫により対応が可能か検討

武藤議員

今年の夏の暑さは異常と言われるが、国連の事務総長がこれからは「地球沸騰化」の時代と言うように、この暑さが当たり前になるのではないか。
文科省の調査では道内のエアコ

ンの設置率は低く、16・5%と公表しており、各地で設置の動きが進んでいる。財源の問題はあるが、子どもの命や教育環境改善のために、町の施策として最優先の課題と思う。
児童生徒が快適な環境で学べるように、エアコンの設置を来年度、直ちに組み込むべきと考える。

奥村教育長

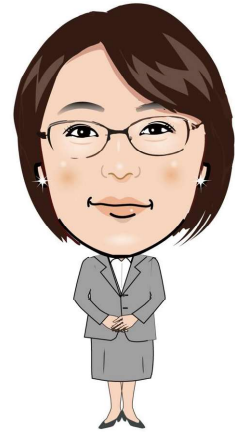
温暖化や気候変動問題が叫ばれて久しい中、今回実際に経験したこととで急遽生じた暑さ対策の課題は、学校現場に限らず、他施設にも同様の課題であると捉えている。エアコンの設置が唯一の解決策として判断するのではなく、学校運営上の工夫により対応が可能な検討もしていく。従来、夏冬休み合わせて50日を、夏30日、冬20日にすることも検討したい。

保健室は怪我の応急措置や体調不良者の一時的な休養場所という役割から、空調設備の整備が必要との考えで、次年度の設置に向け調査する。

ワーケーション実証事業

問 農泊事業を組み合わせでは

答 移住推進策として検討する



中山 千鶴子
議員

中山議員

近年、担い手不足と、労働力不足が社会問題となつていますが、都市部からの人材確保には困難が伴う。まずは、町を知ってもらう、体験してもらうことが大切。

現在、農林水産省が推進する農泊事業があるが、これは、農村に宿泊し、滞在中に地域資源を活用する体験型の旅行である。(※) ワーケーションと農作業を合わせたものは、アグリワーケーションと呼ばれる。これを活用し、移住、就農につながったケースも報告されている。また農泊には、国からの補助制度もあり、町を知ってもらう、体験してもらう事業を財政的に支援してもらえらる。

ワーケーション事業と組み合わせることで、効果を発揮できると考えられるため、検討を提案する。さらに、ワーケーション実証事業の今後の方向性などについての所見を伺う。

※ワーケーション (Workation) とは、「ワーク (Work)」「仕事」「バケーション (Vacation)」「休暇」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地など、普段のオフィスとは離れた場所で休暇を楽しみながら働くスタイルのこと。

鳴海町長

移住前に地域への適応を確認していただくため、移住先となる町は様々な事業を行っており、当町においてもお試し体験住宅事業など、移住検討者を対象とした事業を実施している。今回提案いただいた農泊は、地域ぐるみで取り組む地域振興事業。事業の主体は、民間事業者であると認識する。当町としては、地域や事業者の活動が立ち上がった際には、共に事業推進する必要があると考える。

農泊とワーケーションは、事業目的と参加者の動機が異なり、結び付けることは困難だが、農泊を移住推進の一つの方策として検討する必要があるものと考えらる。現在進めている、朝日小学校の利活用協議において検討したい。

ワーケーション実証事業は、閉校となる朝日小学校の校舎等利活用事業として、実現の可能性を把握するため実施。現時点では実証事業を終え間もないことから、得た知見の具体的な活用方法について示すことはできないが、まちづくり協議の貴重な基礎資料とする。

中山議員

今回行われたワーケーション実証事業

は、閉校する朝日小学校を利活用するという前提があるが、参加者の中には、交通の利便性の問題を挙げる方もいた。

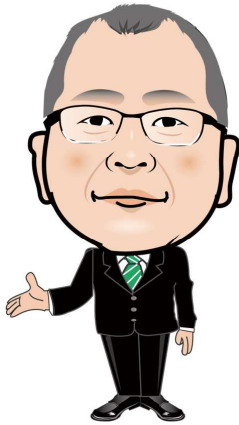
当町にはもう一校、閉校した節婦小学校もあるが、こちらの利活用に関してはどのような考えか。

鳴海町長

小学校の統廃合に伴い、節婦小学校は平成18年より公募に供したが、残念ながら希望者がないうまま校舎の老朽化の進捗につながり、再利用は困難な状況と判断。現施設を再利用したいとの希望があれば、応じる考えはあるが、建築物として大変厳しい状況である。



老朽化の進捗が著しい旧節婦小学校



但野 裕之
たの ひろゆき
議員

防災・減災

問 警報発令時の公用車等の避難は

答 人命最優先

但野議員 大津波警報等発令時に、町民の財産である

公用車・スクールバスなど、町有車両を防災・減災の視点から、速やかに安全な場所に移動させなければならぬと考える。

避難行動は命を守ることから、自助・共助・公助を原則としている。避難者を優先させ人命第一という考えも理解できるが、町有財産である車両を被災から守り、適切に車両管理を行い被害を最小限にとどめることも必要なのではないか。

次の4点について伺う。

- ①現在、町有公用車・スクールバスなど何台所有しているのか。
- ②各車両には管理責任者がいると思われるが、その有無は。
- ③有事の際の車両避難マニュアルなどは、作成されているのか。
- ④スクールバス・コミュニティバスの運行は、民間事業者に委託されているが、契約項目に車両避難に関するものはあるのか。

地域住民も町有財産も両方守り、防災・減災に努めるべきでは。

鳴海町長

①総数で70台、うちスクールバス8台、

コミュニティバス2台など。

②各課単位で配置している車両は、各所管課で管理。それ以外の

車両10台は、総務課防災係が管理している。特定の管理責任者は付いていないが、利用の都度記録する運転日報で管理している。

③令和3年度まで、初動マニュアルに基づき、マイクロバスを除く公用車全台を災害対策本部となる泊津生活館に退避させる訓練を行っていた。

令和3年7月に国が公表した、日本海溝、千島海溝沿の巨大地震による津波到達時間が45分から20分と短くなったことを受け、町職員も自身や家族の身を守ることを最優先とし、公用車の退避訓練を止めている。公用車を守るために、職員を危険にさらすことはできない。職員の命を守ることも町長の責務。

④委託契約に車両退避に関する項目はない。人命を最優先とし、業者に責任を強いる項目は考えていない。

一方、大雨洪水警報発令時は、時間があるので、一般公用車は温泉駐車場などの町内高台へ分散退避させる。スクールバスなどの大型車両は、委託業者の協力で朝日小グラウンドへの退避を想定。契約にない事項は、必要に応じ協議決定する。

チャットGPT（対話型人工知能）

問 生成AI活用の指導体制は

答 国や道の情報動向に注視し構築する

但野議員

AIの「※」チャットGPTが急速に

広まり、小中学校の教諭や保護者に戸惑いが広がっている。宿題の作文など書く際に、AIが生成した文章を自分で考えたかのように書き写して提出する恐れがある。

第3回定例会一般質問

生成AIは、インターネット上の様々な情報を学習しているが、そこには当然誤った情報もあり、AI生成した文章には、事実関係に誤りのあるものもある。

こうした中、文科省は7月に、小中学校や高校での利用に関するガイドラインを公表した。具体的にどう利用するかは、現場に任されている。

一方、現在の学習指導要領では、情報学習能力が「学習の基盤となる資質・能力」とされている。このことを踏まえれば、生成AIへの理解を深めることは重要であり、学校現場では、慎重な指導が求められる。

①生成AIの活用で、各学校でどのように指導を行っているのか。
②夏休みの課題作文では、使用禁止としている学校もあれば、たたき台で活用する学校もあった。当町の対応は。
③各学校で適切な指導体制は、構築されているのか。

※「チャットGPT」とは、パソコンやスマートフォンに入力された質問に対し、人間が対応しているようにAI（人工知能）が文章で回答してくれるサービスのこと。

奥村教育長

①小中学校ともに、生成AIに関して指導などは行っていない。デジタルツールやICT情報通信技術の変化、変革のスピードが速すぎることで、指導側の知識習得が追い付かない状況もあるが、児童生徒の様子などから喫緊の課題とは捉えていなかった。

インターネットに関しては、基礎知識・操作方法の指導・学習ソフトの活用に重きを置いてきた。
②長期休業期間の家庭学習の課題は、基礎的な学習に重点を置いているので、文章作成の課題は少ない。生成AIの活用と関連させた指導は行っていない。

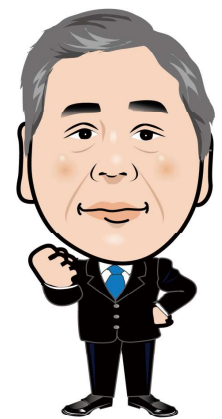
③各学校において、内容理解と対応についての検討段階にある。各校選出の教員と事務局が定期的に協議するICTプログラミング推進委員会、議題として取り上げる。文科省主催のオンライン研修会に参加し、指導体制を構築する。

生成AIの理解と活用の取り組みの遅れは、学校だけの問題ではなく、社会的課題と捉え、待ったなしの対応が求められている。今後、ガイドラインの内容を十分に理解し、国や道の情報や動向に注視し、指導体制を確立する。

自治体DX

問 書かない窓口・行かない窓口への取り組み状況は

答 今年度より26手続が可能
その他は順次検討



たけなか しんいち
竹中 進一 議員

竹中議員

ICTの活用促進の一つとしてデジタル庁は、自治体における「（※）書かないワンストップ窓口」を推進している。自治体の事務作業の効率化と住民の待ち時間の短縮、申請手続きの簡素化が期待できるので取り組むべきでは。

この取り組みには業務改革が必要であり、複雑な作業を伴うが、デジタル庁からの（※）窓口BPRアドバイザー派遣事業が、1自治体原則3回まで受けられる。

さらに「行かない窓口」へと発展すると、オンラインにより在宅や出先での対応も可能となり、多忙な方や遠隔地に住む住民にとって大変ありがたい状況となる。早い時期に取り組んでは。

※「書かないワンストップ窓口」とは、来庁者が申請書に記入せず、各種証明書の発行や住民異動届などの手続きができる、自治体の窓口サービスのこと。

※「窓口BPRアドバイザー派遣事業」とは、自治体窓口DXに精通した地方自治体職員などがアドバイザーとなり、他の地方自治体をサポートしてノウハウを提供する取り組みのこと。

第3回定例会一般質問

鳴海町長

国は、マイナンバーカード普及促進、行政手続きオンライン化、自治体情報システム標準化、共通化を進めている。当町においては、専門的知識を有するアドバイザーなど各種支援を受ける予定となっており、(※)自治体窓口DXについて重点事項として、検討を進める。

現在は、来庁された町民へシステムによらず、複数の部署が連携し、ワンストップ対応を実施しているが、さらなる負担軽減や業務効率向上のため、窓口DXの情報収集や先進地事例などを研究し、具体的になった段階で窓口BPRアドバイザー派遣事業の活用も有効と認識している。

「行かない窓口」はマイナンバーカードを利用し、マイナポータルによる転出入手続き、子育て、介護関係26手続きが、今年度より可能となっており、その他のオンライン化については順次検討する。

※自治体窓口DXとは、「書かない、待たない、回らない、ワンストップ窓口」を実現することで、「人に優しいデジタル化」の実現を目指すこと。

道の駅ゾーン

問 JR跡地利用の方針と 第2駐車場の整備は

答 将来的な構想などを踏まえ 分析協議を尽くす



酒井 益幸 議員
さかい ますゆき

酒井議員

新冠インターチェンジの開通を見据えた

時、道の駅周辺を使用する車両増加により、駐車場が混雑することが懸念され、計画的に整備する必要があると考える。

隣接するJR線路用地の譲受け区間の使用目的は、明確になっていないので、線路跡地を通路として活用することを提案したい。

にいかつぷふるさと祭りが4年ぶりに開催され、レ・コード館第2駐車場を使用して盛況だったが、一方でイベント広場として使用する際は、改良が必要と考える。

①道の駅ゾーン付近における線路用地の使用目的の考え方は、

②ふるさと祭り会場は、第2駐車場だったが課題などは、今後も同会場とするのか。

③第2駐車場の案内看板を国道沿いと駐車場敷地内にわかりやすく設置する考えは。駐車場の拡張・舗装工事をする考えは。

鳴海町長

令和7年度の新冠インターチェンジ開設

により、地域経済への好影響が期待される一方、交通量の増加から交通混雑のほか道の駅ゾーンは、駐車スペースを含めて混雑する機会が増加することが予想される。

道の駅関係事業者からも問題提起され、町としても切迫する問題と認識し方策を築いていく必要があると考えている。

①JR線路用地は、町が譲受け用地区間を確定させ、譲渡に向けた事務手続きを進めており、本年度中に譲渡される予定である。取得後の使用目的は、隣接する第2駐車場の利活用や道の駅エリアの線路用地の利用協議が必要になると考えている。インターチェンジ開設による影響、将来的な構想などを踏まえ多角的に分析協議していく。

②祭り会場を第2駐車場とするのかは、実行委員会の判断であり、検証協議と課題の把握を待ってから町が取り組むべき事項の協議を行う考えである。現時点で町の考えを示すことは控えたい。

③第2駐車場の整備は、線路用地の利活用協議と併せて協議し、表示板の設置などは、道の駅ゾーンの中で協議を尽くしていく。

熱中症対策

問 小中学校の予防対策は万全か

答 丁寧な対応と
共通理解を図っている

酒井議員 温暖化や異常気象の影響で高温多湿となり、体育の授業中、熱中症による体調急変での、痛ましい事故が報道されている。
熱中症は、めまい・たちくらみ・筋肉の硬直や痛みなどの症状が起こり、特に低学年は、体に熱がこ

もりやすく影響を受けやすい。要因は、1「環境」気温・湿度が高くエアコンがないなど。2「身体の不調」低栄養状態や脱水症状など。3「行動」激しい運動や水分補給がしにくいなどによって起こるとされる。

暑さ指数は、環境省の運動環境の指針と認められ、屋外での体育授業・部活動など、実施の目安として用いられている。場所や時間により値が変動するため、活動場所や活動時間ごとで測定することが大切とされている。また、暑さ指数計がない場合は、環境省が熱中症予防情報サイトで公開している。熱中症予防対策について、3点伺う。

奥村教育長

①屋外活動やプール学習を含めた体育授業や部活動の中止、水分補給を随時行えるような措置、下校時のスクールバス待機場所の屋内へ

の変更、児童生徒と保護者が熱中症の危険性と対策を認識するよう周知や呼びかけを行っている。

熱中症の要因とされる環境条件、身体の状態、行動について対処している。また、体調のチェックは、朝の会や授業ごとの問いかけ、管理職が見回り児童生徒の様子を観察するなど、体調不良者を早期に発見する対応を行うことで万全を期している。

②暑さ指数を、日常生活や運動の実施に対する可否の判断に用いることについては、5月以降に道教育庁より熱中症対策の一つとして、繰り返し通知があった。日本スポーツ協会指針に基づき、運動制限などの基準が明確化されている。

酒井議員

学校での熱中症による重症化や死亡事故

の要因は、屋外で行われる体育授業・部活動などが主な原因とされているが、改めて見解を伺う。
①熱中症予防対策に関する教育マニュアルや研修は徹底されているか。

②中学校は暑さ指数計を使用しているが、一方で小学校は環境省のサイトで対応している。暑さ指数計を購入すべきでは。

奥村教育長

①道教委より示された熱中症危機管理マニュアルを学校側の共通認識事項として、7月の校長会議で具

体的な暑さ対策について協議し、各教員に指導と共通理解を図っている。熱中症警戒アラートの発令の際には、各校長に状況把握などの対応を指示している。

②暑さ指数計は、活動内容の判断材料とするよう、次年度に向けて小学校およびドレミ園においても整備することで取り進めている。



中学校で使用している「暑さ指数計」

予算編成

問 令和6年度以降の考え方は

答 財政の健全化に努める



中川 信幸
のぶゆき
議員

中川議員

令和6年度予算編成に当たっての基本的な考え方を伺う。

①当町の財政は決して裕福ではないので、行財政改革を進めるべきと思うが具体的な考え方は。

②各団体、振興会、色々な組織に補助をしているが、検証はできているか。効果がないのなら、減額するなど補助金の見直しをする必要があると思うが。

③交付税の増額は考えにくい中で予算編成は、今までどおりにはできないと思う。その中で予算編成はさらに難しくなるのでは。

④今後の公共施設の老朽化に伴う改修と改善を、どのように考えているのか。診療所の改築で多額の投資をするが、近いうちに恵寿荘や学校の改修などもある。これから数年はハードな事業が続くが考えを伺う。

鳴海町長

①当町の財政運営は、極めて厳しい状況になることが想定されるため、

昨年10月に新冠町財政計画を策定し、今後10年間の財政見通しを明らかにした。

本年1月には、行財政改革推進本部を設置し、各種事務事業の見直しと検証作業を終えている。今後の方向性について整理ができた

段階で、議会に対し報告、協議を行う。

また第三セクターについても、今後のあり方を検討する。

②毎年度予算編成時に補助事業に関するチェックを行い、補助金が適切な内容であるか、確認検証を行っている。また、現在進めている財政健全化に向けた取り組みの中でも、各補助事業の評価検証を進めている。

③必要な施策の推進と健全な財政運営を両立させるため、経費削減を意識し、必要性、有効性、効率性、将来の影響を再検証する。また事業の優先順位付けを行い、緊急性が高い事業や費用対効果の高い事業を、優先し予算編成に取り組む。

④町内にある公共施設の約40%は、建築後30年以上経過しており、今後、多くの施設が更新の時期を迎える。

行財政改革は避けては通れないものであり、産業団体や各種団体、町民にも理解と協力をいただき、推進することが必要となる。

《新冠町財政計画（抜粋）》

（単位：千円）

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
歳入合計	5,132,121	5,215,666	5,404,772	5,037,835	4,951,189	4,930,463	4,906,166	4,902,372	4,903,522	4,802,918	4,775,171
歳出合計	5,149,920	5,338,136	5,585,595	5,128,655	5,085,823	5,055,005	5,059,345	5,072,848	5,100,206	5,018,256	5,016,958
収支差引（単年度赤字額）	-17,799	-122,470	-180,823	-90,820	-134,634	-124,542	-153,179	-170,476	-196,684	-215,338	-241,787
収支差引（累積赤字額）	-17,799	-140,269	-321,092	-411,912	-546,546	-671,088	-824,267	-994,743	-1,191,427	-1,406,765	-1,648,552

令和3年度決算額ベースで一般会計の歳入歳出額を推計すると、令和14年度までに16億4855万2千円の累積赤字が生じる見込みで、その赤字額を財政調整基金を取り崩して補填した場合、令和9年度に財政調整基金が底をつき、令和14年度までに9億9541万2千円の累積赤字が生じる見込みとなります。（令和4年10月公表）

知名度アップ



村田 貞光
さだみつ
議員

問 町の名を知ってもらう
取り組みを

答 まちづくりに専心努力を続ける

村田議員

全国には、地名が読めない難読地名市町村がたくさんある。特に北海道は、アイヌ語を語源とした難読地名が多く、当町もその一つであり、正しい読み方を知らない方が意外と多い。

全国に定住移住のPRを進めるにしても、町名の正しい読み方を始め、正確な情報発信をすることが大事。多くの方が視聴するテレビCMが絶好のPRと考える。次の2点について伺う。

①今後、どのように町のPRを進めるのか。

②テレビCMを行う考えは。

鳴海町長

町のPRは、適切な情報発信が必要。商

品販売のように不特定多数を対象とするのではなく、明確な目的とターゲットを設定し、効率的なPR事業を行うべきと考える。

①ホームページや各種ソーシャルメディアを活用したPR活動を継続させ、道などが行う移住相談会などへ積極的に参加する。

②テレビCMは、費用対効果などを考えると、町の広告としては不適切。町の認知度が高まるか定かではないと判断する。

町のPRは、一過性の宣伝ではなく、印象に残るPRを行うこと

公共道路

問 維持管理に対する考えは

答 適時適切な管理に努める

が大切。PRが人を惹きつけるのではなく、まちづくりが人を惹きつけるのが本来の姿。まちづくりに専心努力を続ける。

村田議員

当町の公共道路は、先人の方々の努力により素晴らしい発展を遂げている。反面、道路敷地内の維持管理が行き届いていないように感じる。

一部の個人、企業の清掃の協力で、維持管理されている箇所も多数あるが、全体的な維持管理が必要なのは。

公共道路は、町の顔であり、きれいな町に人々は引き寄せられ集り、町の収益にも繋がる。

10年後の町の発展を見据え、町全体のレベル向上を目指し、町民一体となった維持管理を進めるべきと考える。隣接町では「町をきれいにする条例」があり、企業との協定で、国道沿の花壇整備を行い、美化活動を実施している。町のイメージアップには非常に有効と感じる。

次の4点について伺う。

①国道、道道の道路敷地維持管理で、管理者との連絡体制は。

②町道の道路敷地の維持管理体制は。

③国道、道道の美化対策は。

④以前行っていた町民向け特別清掃日（年2回）の復活は。

第3回定例会審議内容

鳴海町長

① 国道、道道委託業者による年1回の路肩の草刈り。春先のゴミ拾いと路面清掃を実施。日頃からの情報交換・要望を含め、都度連絡を取り合っている。

② 新冠および節婦市街地を除く全路線で、業者、自治会への委託による年2回の草刈りを実施。また、毎年5月に新冠建設協会のボランティアで路面清掃を実施している。

③ 太平洋と牧歌的風景の国道を観光資源と捉え、管内7町と関係団体は、(※)シーニックバイウエイの取り組みを進めている。指定後は、魅力ある道路としてPRされる。

町が国道、道道を美化事業管理するには、多額の町費投入の疑問と作業上の安全管理責任が生じる。それぞれの管理者が維持管理することが基本。

④ 万世塵芥処理場が閉鎖し、平成10年度末に特別清掃日は廃止。地域の自主的活動や企業の社会貢献が行われているので、実施する考えはない。

条例の参考事例の提案に対しては、諸条件が整わず、町民や町財政の負担となるため考えていない。

町道の草刈りや業務管理の拡大は考えていないが、事故の危険性や特別な事情には適宜対応し、適時適切な行政要望と町道管理に努める。

※「シーニックバイウエイ(Scenic Byway)」とは、景観・シーン(Scene)の形容詞シーニック(Scenic)と、わき道・より道を意味するバイウエイ(Byway)を合わせた言葉。地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取り組みのこと。



維持管理が不十分と感じられる道路敷地(国道)

第3回定例会

審議内容

専決処分

一般会計

新冠温泉の給水ポンプ故障・停止に伴う、応急処置用の代替給水ポンプ購入・設置および新たな給水ポンプ購入・設置に係る経費を専決処分した。

361万9千円

※専決処分とは、本来は議会が議決しなければならぬ案件を、緊急な場合などにおいて行政運営の遅れを防ぐ目的で、例外的に町長が議会の代わりに意思決定すること。

秋山議員

使用しなくなった応急処置用ポンプは、予備ポンプとして常備しておくのか。

佐渡企画課長

同様の事案に備え常備する。

武田議員

ポンプ故障時、宿泊客に対し、割引などの補償は行ったのか。

佐渡企画課長

給水ポンプ故障当日の朝食は、問題なく提供でき、飲み水はミネラルウォーターを配布し対応したことを踏まえ、運営会社としては、料金の減額などは必要ないと判断したと聞いている。

武田議員

新たに購入した給水ポンプの価格は。

佐渡企画課長

137万1千円。

財産の取得

▼庁舎内ネットワークサーバー機器購入

現行サーバーは稼働から12年経過しており、対応年数の5年を大幅に超過していることから、機器の更新を図る。(令和5年度当初予算計上)

2145万円

※財産の取得とは、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」により、購入予定価格1千万円以上の財産は、議会の議決が必要とされている。

第3回定例会審議内容

竹中議員

①サーバーの容量は。

②バックアップは、クラウド化しているか。

佐藤総務課長

①現行サーバーの容量よりも大きなものになる。

②バックアップは、クラウド方式ではなく、庁舎内の別サーバーとなる。

竹中議員

別サーバーの設置場所は。

佐藤総務課長

庁舎内2階のOA室。

竹中議員

庁舎が被災すると想定した時、バックアップは、クラウド化したほうが安全では。

佐藤総務課長

住民記録や税情報、健康保険など、特に重要なデータはクラウド化している。今回購入のサーバーは、事務的なデータ用で、重要度、費用対効果を考慮し庁舎内の別サーバーでの対応とする。

※庁舎内ネットワークサーバーとは、役場のパソコンが接続されたコンピュータのことで、データの保管などを行う機器のこと。

補正予算

一般会計

【補正概要】既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億6808万7千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ55億9363万2千円とした。

▼マイナンバーカード交付事務費

マイナンバーカードの申請およびカード交付手続きを円滑に行うため、ガイドブック制作費やカード専用裏面印字システムの購入経費などを計上。

450万円

酒井議員

カード専用裏面印字システムとは。

谷藤町民生活課長

マイナンバーカードに記載された氏名および住所に変更があった場合、現在は手書き対応しているが、見えづらいつの意見があることから、システムで印字できるようにする。

酒井議員

①ガイドブックは、これからカードを作る方に対し窓口で配布するものか。それとも全町民に対して配布するのか。

②裏面印字システムの価格は。

谷藤町民生活課長

①これからカードを作る方に配布すると共に、窓口にも設置する。

②一式で100万円程度を予定。

酒井議員

ガイドブックを町政事務委託文書で配布する考えは。

山本副町長

ガイドブックは、窓口で分かりやすく制度を説明するときや、関心のある方に、見てもらうことが目的。町政事務委託文書での制度周知は、別途担当課で考える。

竹中議員

カードの交付率目標が、令和4年度も5年度も100%となっている。目標値に達しない場合、国からの罰則はあるのか。

谷藤町民生活課長

罰則はない。

竹中議員

令和5年度中に、カード交付率100%を目指すよう国から指示を受けているのか。

谷藤町民生活課長

指示はない。国においてカード交付率100%の目標を掲げているため、町も100%を目標としている。

武田議員

システムの購入などによって、事務の負担軽減や効率化は、どの程度図られるのか。

谷藤町民生活課長

今回の補正予算では、会計年度任用職員1名配置分の予算も計上している。人員が増えることに加え、システムも導入されるので、大幅に負担軽減が図られると考える。

武田議員

会計年度任用職員の採用は、成り手不足の現状があるが、どのように考えているか。

佐藤総務課長

近年、職員を募集しても応募者が乏しく、採用に至らないケースがある。

通常はハローワークや町政事務委託文書で募集をするが、今後は募集した後、応募を待つだけではなく、色々な方法の中で人員を探さなければ採用は難しいと考える。できる限り担当課と協力しながら、事務を進めて行きたい。

第3回定例会審議内容

▼有害鳥獣駆除対策事業

熊捕獲奨励報奨金（当初予算15頭）として15頭捕獲分を追加計上。

30万円

武田議員

①猟友会の中で、熊ハンターとして委嘱されている方の人数と平均年齢は。

②熊捕獲頭数の推移は。

鷹薮産業課長

①当町猟友会所属が46名。うち熊ハンターに委嘱している方は18名で、平均年齢は65歳。

②平成30年度は6頭。令和元年度から4年度にかけては13頭から15頭で推移していた。

武田議員

要請を受けた熊ハンターは、仕事の合間を縫っての出動や長時間掛かっても捕獲に至らいケースが多い。拘束される時間や労力、危険度合に見合う報酬は得られているか。

鷹薮産業課長

熊捕獲の報酬は、熊檻設置時の費用と捕獲した際に支払われる報償の2段階。檻を設置した場合、毎日檻を確認しなければならず、捕獲までに日数を要した場合や捕獲に至らなかった場合は、ボランティアの要素が強くなる。

竹中議員

熊ハンターに委嘱されるための条件は。

鷹薮産業課長

熊ハンターは大変危険な業務であり、経験値が必要のため、委嘱は猟友会と協議し決定している。



設置後は毎日巡視している熊檻

▼新冠温泉施設管理運営事業

新冠温泉洋風風呂浴槽タイル剥がれ落ち箇所修繕料を計上。

44万円

酒井議員

①リニューアル工事時にも修繕しているが、この修繕と別箇所か。

佐渡企画課長

①前回の工事では、和風風呂浴槽タイルを張り替えた。今回は、洋風風呂浴槽タイルの張り替え。
②工事は数日が必要なため、定期休業期間内に実施する予定。

行政報告

鳴海町長 行政報告

- ◇NPO法人コメリ災害対策センターとの「災害時における物資供給に関する協定の締結
 - ◇新型コロナウイルスワクチンの秋開始接種
 - ◇ワーケーション実証事業の取り組み結果
 - ◇判官館森林公園における熊出没に係る対応
 - ◇第27回にいかづぶふるさと祭り
 - ◇日高山脈襟裳国定公園の国立公園に向けた取組み
 - ◇新冠温泉給水ポンプ破損に係る対応
 - ◇令和4年災にかかる災害復旧事業
- 奥村教育長 教育行政報告

 - ◆小学校統合に係る進捗状況
 - ◆「教育委員会点検・評価報告書」の提出
 - ◆令和5年度全国学力・学習状況調査の結果
 - ◆中体連全道大会及び各種大会の出場結果
 - ◆令和5年度新冠町少年国内研修交流事業

議会動画配信開始

令和5年第4回定例会より、議会の情報を速やかにお伝えするため、本会議と一部委員会のインターネット配信（YouTube配信）を開始します。

以下のサイトからご覧ください。
(<https://www.youtube.com/@nikappucho-gikai>)



議会動画配信サイト

新冠町公式ホームページ

定例会や臨時会の議事日程、議決結果を公表していますので、スマートフォンでご覧ください。



新冠町公式HP

『こころ』 ～今できることを頑張る～

☆東町 土田 治子 さん☆



私は新冠町字万世で生まれ育ち、その後、結婚して苫小牧の沼ノ端に住みました。3人の男の子に恵まれ、にぎやかに過ごしていましたが、縁あって、新冠町に再び戻って来ることができました。

子どもの時からの友達に誘われて、陶芸サークルに入会し、20年以上がたちます。また、ネイチャーズクラブや、100歳体操などもやっていますが、最近は歳のせいか「以前のように動けなくなったなあ」と残念に感じることもあります。

でも、できないことをくよくよ考えるのは性に合わないので「今できることを頑張る」をモットーに生きていきたいと思っています。

発行責任者 長氏家良美
議会広報常任委員会
委員長 酒井益幸
副委員長 但野裕之
委員 中山千鶴子
委員 長浜謙太郎
委員 武田修一

今号のあとがき担当

中山 千鶴子

人が野生動物のテリトリーを侵しているのが原因なのか、動物が野生の本能を失う、あるいは人を恐れなくなってしまうのか。どちらにしても、人と野生動物が上手く共存するための方法を模索して行かなければならないように思う。

少し前であれば、野生動物は人里離れた場所に住んでいたように思うが、今はどうだろう。道内各地で熊の目撃情報が報告されている。また、本州では猿が民家に侵入する被害もあるという。

近頃、我が家の庭に珍客が訪れるようになった。カラスより大きな、茶色のまだら模様の鳥である。見た目は、メスのキジに似ているが尾羽が短く、確信が持てない。そんな鳥が、時々、6羽やつてきて、一生懸命何かを啄んでいる。さらに別の時には、鹿が親子で訪れていた。どうやら我が家の栗の木が目当てだったらしい。

あとがき

Topics

議会の話題

～ 林活議連の活動 ～

議員全員で構成される「新冠町 森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟」の活動を紹介します。

10月5日に『山を見る会』として、緑丘にある町有林に定植されたカラマツの生育状況を視察しました。

また10月7日には東川の国有林で行われた『バットの森植樹祭』に参加して、アオダモの苗木300本を植樹し、資源保護を願いました。



上段「山を見る会」 下段「植樹祭」

この議会だよりは、会議録に基づいて議会広報常任委員会が内容を要約し、掲載しています。新冠町議会の情報は町ホームページでご覧いただけます。また、レ・コード館図書プラザに「閲覧用会議録」を配備していますのでお気軽にご覧ください。【年4回発行】